

長崎大学平成 13 年度「学生による授業評価」試行に関する一考察

事務局総務部総務課 林 朋 美
教 育 学 部 鈴 木 慶 子

はじめに

近年、大学を取り巻く環境は大きく変化している。社会からは多様化した要望が寄せられ、加えて大学の大衆化が進む中、多様な学生が入学してくるようになった。大学は急速な改革を迫られ、教員は従来のように研究者としてだけでなく、教育者としての資質が大きく問われはじめている。そうした中、大学の教育力、教員の教育力の充実を図るための一つの方法として、「学生による授業評価」を全学的に実施する大学が増えてきた。

長崎大学では、平成 13 年 7 月 13 日開催の大学改革推進委員会（構成員：学長、副学長、各部長等）において、平成 14 年度より「学生による授業評価」を全学で実施することが決定された。その際、平成 13 年度は試行期間とし、平成 14 年度の全面实施に向けたシステム改善等の意見を教員に求めることも決定された。

本論は、平成 13 年 9 月より授業評価実施部が行った平成 13 年度「学生による授業評価」試行（以下、試行とする。）を対象とし、分析を進めていくものである。

「学生による授業評価」はより良い授業を目指した授業改善のために実施される。授業改善には、教員側での改善と学生側での改善の両面が考えられる。しかし現時点では、教員の授業技術、授業方法といった教員側の改善に重点が置かれているように見受けられる。

また、林は、試行の一連の業務に携わり、教員の関心の多くは評価結果の平均点に寄せられていると感じることがあった。しかし、平均点よりも、各質問項目に対し学生がどう反応しているかについて知ることの方が重要ではないかと考えている。

「学生による授業評価」が、教員だけでなく学生にとっても効果的なものにならないか、教員と学生の双方向から授業改善を目指していくことができないか考えてみたい。

教員の中には、学生に評価されるということに抵抗を感じる教員もいる。しかし、「評価される」のではなく、授業者としての自分がどうであるのか、その授業が学習者にとってどんな意味や効果を持っているのかということを知る手がかりとして「学生による授業評価」を位置付けることができないだろうか。その可能性を探ってみたい。

第 1 章では試行についての報告、第 2 章では双方向からの授業改善について考えることを中心に述べる。

本研究における役割分担

試行にあたり、林は授業評価実施部において申込受付、評価用紙作成、評価結果の集計の作業を担当している。

本論は鈴木の助言を受け、林が全面的に執筆した。また、学生の意見を聞くために、鈴木は授業科目「中学校国語科教育法（書写）」を受講している学生を対象にアンケートを行った。

1. 平成 13 年度「学生による授業評価」試行

1) 試行実施のスケジュール

今回の試行は、基本的に学期末の総括的評価を想定し、実施された。試行の実施スケジュールは【表 1】のとおりである。

【表 1】平成 13 年「学生による授業評価」試行 実施スケジュール

	内 容	前期末試験 対応	12 月末試験 対応	後期末試験 対応
 授業評価実施部 (教学担当副学長室) ↓ 各 教 員	「学生による授業評価」 評価用紙作成申込用紙配付	8 月 20 日 (月)	10 月 24 日 (水)	11 月 26 日 (月)
 ↓ 授業評価実施部	評価用紙作成申込締切り 実施日の 1 週間前までに申込	8 月 31 日 (金)	11 月 16 日 (金)	12 月 21 日 (金)
 ↓ 各 教 員	評価用紙作成	9 月	11 月～12 月	1 月
 ↓ 授業評価実施部	各教員へ評価用紙送付	実施日 2 日前までに		
 ↓ 各 教 員	「学生による授業評価」実施	実施日	実施日	実施日
 ↓ 授業評価実施部	評価用紙返送 (教学担当副学長室 宛)	実施日より 1 週間以内		
 ↓ 各 教 員	分析及び統計処理	評価用紙受領後		
	各教員へ分析結果報告 (評価用紙もあわせて返却)	10 月～11 月	1 月～2 月	3 月～4 月
		(評価用紙受領後 2 ヶ月以内)		

2) 評価項目と評価方法

(1) 申込用紙に関して

今回の試行では「学生による授業評価」を実施する科目 1 科目につき 1 枚の文書による申込方法がとられた。

申込用紙表面には、①学部 ②氏名 ③授業科目名 ④授業コード ⑤授業評価実施日 ⑥個人番号 ⑦受講者数の記入に加え、試行に関する質問・要望欄が設けられた。裏面には、評価用紙の自由記述欄に設定できる設問文の作成欄と、追加項目の作成欄が設けられた。これらはいずれも教員独自が必要に応じ、設定できるようになっている。使用した申込用紙を【参考資料 1】に示す。

(2) 質問項目に関して

①共通項目

基本の質問項目として共通項目 10 項目が用意された。共通項目を次に示す。これは、今回の試行に参加した教員全員に共通の質問項目である。

- ① シラバスは、授業の目標や内容及び評価方法を適切に示していた。
- ② 教材・教具（教科書、黒板、OHPなど）の使われ方は効果的だった。
- ③ 授業担当者の話し方は聞き取りやすかった。
- ④ 抽象的な概念や理論があってもわかりやすかった。
- ⑤ 授業担当者は効果的に学生の参加（発言、作業など）を促した。
- ⑥ 授業担当者は学生に適切な助言を与え、相談にのってくれた。
- ⑦ 授業担当者の授業に対する熱意を感じた。
- ⑧ 新しい知識や考え方などを習得でき、さらに勉強したくなった。
- ⑨ 自分は、この授業に意欲的に取り組んだ。
- ⑩ 総合的に見て、この授業は自分にとって価値があった。

上記の評価項目は、学生による授業評価に関するWG（学部教育専門委員会）において、試行に関する原案が検討され、学部教育専門委員会、続いて大学改革推進委員会です承されたものである。

②追加項目

教員が独自に質問項目を設定したい場合は、共通項目に加えて、追加項目を自由に設定できる。追加可能な質問数は25項目である。設定に際し、【表2】の評価項目一覧の中から、授業内容に合わせて選択することもできる。これは、「学生による授業評価」を行うにあたり、教員の負担を軽減しようと用意されたものである。

【表2】評価項目一覧（追加項目用）

No.	質 問	No.	質 問
1	講義の進度が速い。	16	引用された事例は興味深かった。
2	講義の分量が多い。	17	授業担当者の意見や行動に共感するものがあつた。
3	講義には積極的に出席した。	18	進んで出席したくなるような授業だった。
4	講義の予習をするように努めた。	19	自分で問題意識を持ち、考えようとした。
5	どこが重要なポイントであるか良くわかつた。	20	課題に一生懸命取り組んだ。
6	講義に具体例が適切に盛り込まれていた。	21	協同作業に積極的に参加した。
7	レポート課題は学習に役立った。	22	疑問点について質問した。
8	授業内容は、構造化され体系立てられていた。	23	わからないときはいつでも質問できる雰囲気がある。
9	板書や資料は見やすかつた。	24	授業内容に適した教室である。
10	電子メディアを効果的に利用していた。	25	毎回の授業の目標がはっきり明示されていた。
11	身振り、表情などの使い方が効果的だった。	26	学生の評価方法は、講義の内容にふさわしいものであつた。
12	学生の方に視線を向けて話していた。	27	授業担当者の授業内容に関する知識は十分であつた。
13	ユーモアのある授業だった。	28	この講義のような教え方をする他の授業を受けたい。
14	教室での討論を積極的に勧めた。	29	この授業の学生数は適切であつた。
15	学生から学ぼうとする態度があつた。	30	提出した課題に対して十分なコメントが返ってきた。

(3) 評価用紙に関して

評価用紙にはマークシートが利用されている。評価用紙には申込をもとに①授業コード ②実施日 ③授業担当者コード ④共通項目 ⑤自由記述欄設問 ⑥追加項目を印刷し、各担当教員へ配付した。使用した評価用紙を【参考資料2】へ示す。

3) 試行への参加状況

試行において評価を実施した教員は、前期 180 人（科目数 268 科目）、後期 212 人（科目数 329 科目）であった。参加教員数の内訳は【表3】【表4】に示す。

【表3】平成13年度試行における参加教員数（前期）

前 期		教育	経済	医	歯	薬	工	環境	水	医短	留セ	合計
教員	現員数	102	70	98	37	31	94	55	48	32	5	572
	申込数	25	13	12	12	9	87	5	27	17	1	208
	割合(%) (/現員数)	24.5	18.6	12.2	32.4	29.0	92.6	9.1	56.3	53.1	20.0	36.4
	実施数	25	12	12	11	9	65	5	24	17	0	180
	割合(%) (/現員数)	24.5	17.1	12.2	29.7	29.0	69.1	9.1	50.0	53.1	0.0	31.5
科目	申込数	39	17	12	12	9	168	5	39	23	1	325
	実施数	39	16	12	11	9	115	5	38	23	0	268
実施科目数/実施人数		1.6	1.3	1.0	1.0	1.0	1.8	1.0	1.6	1.4	0.0	1.5

【表4】平成13年度試行における参加教員数（後期）

後 期		教育	経済	医	歯	薬	工	環境	水	保健	留セ	合計
教員	現員数	102	70	98	37	31	94	55	48	32	5	572
	申込数	28	12	33	7	10	83	19	30	10	1	233
	割合(%) (/現員数)	27.5	17.1	33.7	18.9	32.3	88.3	34.5	62.5	31.3	20.0	40.7
	実施数	28	11	28	7	8	74	18	29	8	1	212
	割合(%) (/現員数)	27.5	15.7	28.6	18.9	25.8	78.7	32.7	60.4	25.0	20.0	37.1
科目	申込数	43	15	35	7	10	149	44	46	14	1	364
	実施数	43	14	30	7	9	139	44	31	11	1	329
実施科目数/実施人数		1.5	1.3	1.1	1.0	1.1	1.9	2.4	1.1	1.4	1.0	1.6

※ 教員の現員数は平成13年10月現在の数を示す。

※ 医学部には熱帯医学研究所を、工学部には生産科学研究科を含む。

※ 保健は医学部保健学科を、留セは留学生センターを示す。

※ 割合と実施科目数/実施人数は小数点第2位を四捨五入している。

4) 追加項目設定状況

(1) 追加項目設定教員数

今回の試行において、追加項目を設定した教員数を【表 5】に示す。一人の教員が複数の授業科目で「学生による授業評価」を実施している場合、教員数は1としてカウントしている。

【表 5】追加項目設定教員数

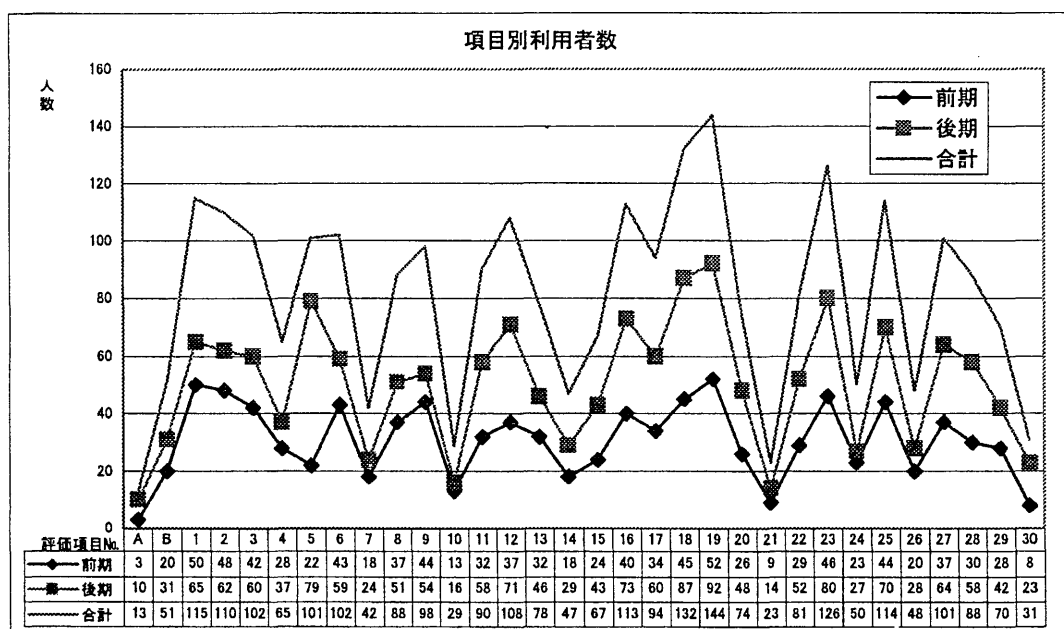
	A：追加項目設定教員数(人)				B：試行における参加教員数(人)	追加項目設定の割合 A/B (%)
	○評価項目一覧より選択	○評価項目一覧より選択 ○自作評価項目	○自作評価項目のみ			
前期	79	56	20	3	180	43.9
後期	143	102	31	10	212	67.5
合計	222	158	51	13	392	56.6

※ 割合は小数点第2位を四捨五入している。

(2) 項目別利用者数

先に述べた【表 2】評価項目一覧（追加項目用）の中からどのような項目が選択されたのか、項目別にその利用者数を【グラフ 1】に示す。一人の教員が複数の授業科目で追加項目を設定している場合、教員数は1とカウントした。また1教員内で授業科目毎に利用した評価項目が重複している場合、その利用評価項目も1とカウントしている。一人の教員がどの項目を利用したのかという視点で集計した。

【グラフ 1】項目別利用者数



※評価項目No.の A は追加項目を自作の評価項目のみで設定した教員を表し、
B は自作の評価項目と選択項目を利用し設定した教員を示す。

【表 6】には、前期と後期との項目別利用者数を総合し、利用者の多かった評価項目の1位から10位までを挙げた。これらは、学生が質問して欲しいと思っている評価項目とほぼ一致している。詳しくは、第2章3)－(3)「学生が教員に求めていること」に述べる。

【表 6】利用者数の多い項目トップ10

	評価項目一覧No.	質問内容
1位	19	自分で問題意識を持ち、考えようとした。
2位	23	わからないときはいつでも質問できる雰囲気がある。
3位	1	講義の進度が速い。
4位	25	毎回の授業の目標がはっきり明示されていた。
5位	16	引用された事例は興味深かった。
6位	12	学生の方に視線を向けて話していた。
7位	6	講義に具体例が適切に盛り込まれていた。
8位	5	どこが重要なポイントであるか良くわかった。
8位	27	授業担当者の授業内容に関する知識は十分であった。
10位	9	板書や資料は見やすかった。

(3) 自由記述欄設問文設定状況

【参考資料 1】にあるように、評価用紙の自由記述欄には教員個人が独自に設問文を設定できるようになっている。この欄へ独自の設問文を設定した教員数は、前期34名(37科目)、後期57名(83科目)である。設定された設問文は【参考資料 3】に示す。前期と後期を比較すると、明らかに後期の人数が増えている。自由記述欄の利用により、学生の意見を聞こうとする教員が増えているのである。これは、前期に試行に参加した結果、システムが理解でき、後期にはシステムを有効に利用できたということが考えられる。また、授業評価実施部では前期分実施の反省から、後期は申込期間を長く設定した。そのため、教員が時間をかけて評価項目を考えることができたのかもしれない。

自由記述欄には、学生の感じていることが学生自身の言葉で記述されるため、教員と学生の距離を近づける足がかりとなるに違いない。自由記述欄の効果的な利用が求められる。

5) 試行の実施から

(1) 「学生による授業評価申込用紙」に寄せられた意見・要望

「学生による授業評価申込用紙」【参考資料 1】には、試行に関する意見・要望欄が設けられている。この意見・要望欄を利用し、前期は申込208人中18人(8.7%)、後期は申込233人中30人(12.9%)の教員から意見・要望が寄せられた。寄せられた意見・要望は【参考資料 4】に一覧表にまとめている。なお、【参考資料 4】には分析番号を付しているが、これは林が分析用に設定した番号であり、個人を特定する番号ではない。

これらの意見・要望の内容を分類すると、【表 7】に示す7種類に区分される。

【表 7】 試行に寄せられた意見・要望内容

	意見・要望内容	意見数
A	評価システムについて	19
B	評価項目について	12
C	「学生による授業評価」を実施する授業の形態について	7
D	学生が評価を行うことへの危惧について	4
E	授業改善について	3
F	評価点について	2
G	評価の意図について	1

(2) 「学生による授業評価申込用紙」に寄せられた意見・要望から

① 申込方法

今回の試行では1科目につき1枚の文書による申込方法をとっている。しかし A2, A3 の意見から、教員は簡易な申込方法を要望していることがわかる。教員が「学生による授業評価」への参加に負担を感じれば、当然「学生による授業評価」の実施は定着するまでに時間がかかる。実施にともない課題は多く生まれるであろうが、まずは申込を簡易なものにし、教員が参加しやすいシステムを作り上げることが第一であると考え。

② 評価用紙

評価用紙作成において、授業評価実施部では、各教員の要望に応え作成するという姿勢で取り組んでいた。その要望が各教員からであっても各学部からであっても、可能な限り応えていくことにしている。実際、水産学部からは、前期分申込の時点から追加項目について学部統一の評価項目が提出され、授業評価実施部はそれにしたがって評価用紙を準備している。このように学部での統一がなされれば、学部単位での「学生による授業評価」に対応することもできる。

「学生による授業評価」を教員個人で行うにしても、学部などの組織単位で行うにしても、授業評価実施部はそれに対応できる体制を整えていなければならない。そのためにも、教員—学部—授業評価実施部の連携が求められる。互いの情報交換の場が必要である。平成 14 年度より大学教育機能開発センターが立ち上げられることになっている。このセンターがその場として効果的に機能することが期待される。

A5 「評価用紙に科目名を印刷してほしい」という意見は、後期に寄せられたものである。これは前期に実際に評価を実施してみてわかったことである。実施してみなければ気付かなかった点であるとも言える。実施を重ね、そこへ寄せられた意見・要望について検討し対応していくことでシステムは改善されると考える。

③ 評価項目の適性について

評価項目について最も多く寄せられた意見・要望は、評価項目として適当でない項目についてである。適当でない項目として挙げられた評価項目（共通項目）を【表 9】に示す。教員が、【表 9】にあげるような項目をなぜ評価項目として適切でないと考え

るのかについて検討が必要であるが、そのためには担当授業科目の設定理由・目標や対象とする学生等について細かい分析が必要となる。その上で評価項目が適切かどうか検討しなければならない。現段階では検討するだけのデータがなく、また検討のためには教員のさらなる協力が必要となるため、この点については今後の課題となる。

【表 9】評価項目として適当でないと指摘された項目（共通項目）

	No.	評価項目	理 由
共通項目	4	抽象的な概念や理論があってもわかりやすかった。	○扱いようがなく、意味がない。 ○授業に該当しない。
	7	授業担当者の授業に対する熱意を感じた。	○授業に該当しない。
	9	自分は、この授業に意欲的に取り組んだ。	○講義の改善に必要でない。 ○授業に該当しない。
	10	総合的に見て、この授業は自分にとって価値があった。	○扱いようがなく、意味がない。 ○講義の改善に必要でない。

2. 双方向からの授業改善のために

1) 学習記録を資料とした「学生による授業評価」

試行に対して、「評価項目が授業に該当しない場合、学生は回答を悪い評価として答えるので全体として授業は良くないということになる。」といった意見が教員より寄せられた。これは、担当授業科目に該当しない項目設定のために評価点の平均が下がることを指摘している。また、「項目全てに回答するのではなく、講義の形態により記述できない項目については回答の必要のないことを案内すべき」といった意見もある。これは、前述の意見に呼応していると考えられることもでき、一方、多くの評価項目に答えなければならない学生に対する配慮とも考えられる。

教員の関心の多くは、平均点の数値に寄せられているようであるが、ここで考えておかなければならないことは、評価結果のどの部分を重視するかということである。確かに、平均点から評価の結果を容易に知ることができる。しかし、平均点だけでは具体的な授業改善策を講じることはできない。結果が全てではなく、学生がその評価をするに至った過程を知ることが必要である。そこから授業改善が始まるのではないか。各項目に対しての評点に具体的に対応していくことで、授業改善が図られると考える。

学生から評価を受けると言うと、抵抗を感じることも事実であり、評価されたからには高い数値を求めることも当然のことである。しかし、授業は教員と学生とで作りに上げていくものである。学生なしでは授業は成立しない。「学生による授業評価」に対し、学生が教員をどう評価するのかと身構えるのではなく、もっと気軽に、その授業は学生にとってどれだけ効果があるのかということを知る手がかりとして捉えてはどうだろうか。

鈴木は、学生による授業評価を行う際、「受講者が思いのまま回答するのではなく、「学習記録^(注1)」を読み返して、当時の学習を振り返り、回答するようにした」。

その結果、「学習記録」を読み返し、振り返りの行為を行うなかで、自分の学習全体を俯瞰するという視点が加わり、自己評価力の育成段階が引き上げられる」と考察を行っている。－「小学校教員養成用「書写」における自己評価に関する試行」(第16回全国大学書写書道教育学会 2001.11.17)－

学習記録を資料として「学生による授業評価」を行うことで、評価は的を射たものになり、かつ個に対応した評価になるので、より学生にシフトしたものとなる。

授業が学生の学習にどれだけの効果をもたらしているのかという視点から「学生による授業評価」を行うことで、教員と学生の双方向の授業評価が可能となるのではないか。

(注1) 鈴木は、教育学部に着任して以来、担当する全ての授業において、受講者自身に、毎回の授業の記録をとらせてきた。

2) 学生による授業評価に対する学生の意見

林は、今回の試行について考えていくうちに、学生は「学生による授業評価」に対し、どのように考えているのか知りたくなった。そこで、学生に対しアンケートを行った。アンケート様式は【参考資料5】に示す。

対象者は教育学部国語免許選修の2年生で授業科目：中学校国語科教育法（書写）を履修している学生15名である。調査結果を【表10】に示す。

【表10】「学生による授業評価」についてのアンケート調査結果

- 1 調査日 平成14年2月14日
- 2 対象者 教育学部国語免許選修「中学校国語科教育法（書写）」履修者15名
- 3 記入時間 15分

問	選 択 肢	人数
Q1 あなたは、「学生による授業評価」を行うとき、どのように評価を行っていますか。	a) 他の先生の授業と比較して、評価している。	2
	b) 同じ先生の他の授業科目と比較して、評価している。	0
	c) 他とは比較せず、評価している。	13
	d) その他	0
Q2 現在、「学生による授業評価」の施行では、学期末に評価を実施しています。そのため、評価を行った授業がどのように改善されているのか、あなた方に直接伝わりにくい現状があります。そこで、評価を実施する時期・回数について適当だと思うものはどれですか。	a) 毎回実施する。	2
	b) 学期の途中で2、3度実施する。	6
	c) 学期の中間で1度実施する。	4
	d) 学期末に実施する。	2
	e) その他（学期末に1回と、中間に1回）	1
Q3 「学生による授業評価」の結果についてどのように思いますか。	a) 評価の結果を学生に向けて公表して欲しい。	3
	b) 評価の結果にもとづいた改善点を学生に知らせて欲しい。	10
	c) 評価の結果を教員がどのように解釈したのか知らせて欲しい。	5
	d) その他	0
Q4 共通質問項目以外にどのようなことを質問して欲しいか、選択肢の中から選んで下さい。	a) 出席を取った方が良い。	3
	b) どこが重要なポイントであるかわかった。	7
	c) 講義に具体例が盛り込まれていた。	4
	d) 授業内容は構造化され体系立てられていた。	4
	e) 板書や資料は見やすかった。	5
	f) 身振り、表情などの使い方が効果的だった。	1
	g) 学生の方に視線を向けて話していた。	3
	h) 学生から学ぼうとする態度があった。	5
	i) 引用された事例は興味深かった。	6
	j) わからない時はいつでも質問できる雰囲気がある。	9
	k) 授業の目的がはっきり明示されていた。	6
	l) 学生の評価方法は、講義の内容にふさわしいものであった。	5
	m) 提出した課題に対して十分なコメントが返ってきた。	4
	n) その他 : g) 学生の方に視線を向けて話していた は、当たり前でこのような項目があったアンケートもあったが、あることがおかしいと思った。	1

<p>Q5 「学生による授業評価」について感じたこと、気づいたことがあれば何でも自由に書いて下さい。</p>	<p><自由記述></p> <p>2: 教師から見た学生に対する評価も必要。授業評価を行うだけでなく、どう今後に影響するのか具体的に知りたい。</p> <p>3: 実施していくべき。講義によっては学生には理解しがたいものもあり、その不満をどこにぶつけていいものかわからないので、講義内容を大学側にも知ってもらいたい。</p> <p>4: 学生の評価がどのように生かされるのかはっきりしないので、評価結果の公表や担当教官のコメントなどを学生に知らせたほうが良い。</p> <p>5: 評価を行っていてもアンケートでしかない気がする。本当の意味での評価とするならば、教師側がどう受け取りどう生かそうとしているのかはっきりと示して欲しい。</p> <p>7: 評価の結果を公表して欲しい。数学の先生がアンケートをばらばらと見て「これには反対です。」と言っていた。学生の意見に対して反省が見られなかった。</p> <p>8: やるからには学生の評価を反映させて欲しい。前に人から聞いた話で「もっと〇〇して下さい」というような意見を聞いても、全く変わらなかったと聞いたので、それでは評価をする意味はない。</p> <p>9: 「学生による授業評価」が悪い先生にはそれなりの処置を厳しくとって欲しい。そうすることで大学全体のレベルの向上につながる。</p> <p>12: 「共通項目」は共通として、その講義の担当者がねらいとしていた項目を講義ごとにつけておいて欲しい。ねらいと学生の受け取り方が一致していたかどうか気になるし、目的や意図が見えにくい講義がある。</p> <p>13: 教師から評価されるだけでなく、学生が教師を評価するのは授業の向上につながり、良い。しっかりと生徒の意見を反映してもらいたい。</p> <p>15: 評価するのが難しかったり、単に好き嫌いだけで評価することもある。また評価することにどんな意義があるのかまだまだ見えてこない現状である。この評価が本当に次年度への改善になっているのか、レベルアップしているのか知りたい。</p> <p>16: 何回も続けて同じ先生の授業がある場合は、教授の熱意が伝わりやすく親しみを持つことができる場合が追いのだが、オムニバス形式の授業で教授の評価を行うとなった時は、学生の評価の仕方も曖昧になり、厳しく怖いからという単純な感情で評価してしまうのではないか。</p>
--	--

3) アンケート結果からの考察

(1) 学生の個に応じた「学生による授業評価」

Q1 では、学生が評価を行う際、他の授業科目・教員と比較をして評価を行っているかどうかを尋ねた。その結果、学生は評価の際、他の授業科目・教員と比較をせずに評価をしているということがわかった。

他と比較せずに評価をするということは、学生はその授業が自分の学習にとって良

いか悪いかという学習における絶対基準を持って評価を行っていると考えられる。また一方では、「ただ何となく」評価を行っている可能性も考えられる。しかし、それについては、Q5の自由記述から、学生は自分の評価に迷いを感じているとも言い換えることができる。授業の目的や意図が見えにくい、または教員を良く知らないということが原因となり、学生にとって授業評価を行うことが困難となる。その結果、感情にまかせた評価を行い、評価は曖昧なものになってしまう。

教員側から、「学生による授業評価」の信頼性に対して不安などが述べられることがあるが、Q1の結果からわかるように、学生は評価に対してきちんとした感覚を持っている。学生に評価する能力が備わっていないのではなく、評価を行うための情報を教員が学生に提示しきれていないのではないだろうか。

評価に際し、学生には上述したような迷いが見られる。そこで、自分の学習に役に立ったかどうかという点に即して評価を行って欲しいと教員側から提示すれば、「学生による授業評価」は学生個人に対応した評価になり、学生個人にとってよりの的を射たものとなる。加えて、学生が教員を評価するという抵抗感が薄れ、「学生による授業評価」に気軽に参加できるようにならないだろうか。

教員からは、【参考資料4】のD3、D4のように、評価をするに値しない学生が挙げられている。しかし、学生個人に応じた「学生による授業評価」という視点に立てば、教員が評価をするに値しないと見る学生が、その授業をどう感じているのかという学生のタイプ別の資料ともなり得る。授業は当然ながら、学生なしには成り立たない。どんな学生からであっても教員に対し授業に関する情報が発信されたならば、それを学生個人に対応した形で受けとめていけば良いのではないだろうか。

(2) 教員から学生へのフィードバック

Q2では、評価を実施する時期・回数について尋ねた。その結果、学生は学期末だけの評価ではなく、途中で何度かの評価を実施して欲しいと感じている。これは、授業改善を直接に感じたいという学生の気持ちの表れである。

一方で、毎回実施するということに対して学生はあまり良い印象を持っていない。授業毎の評価を学生は負担に感じるということであろう。また、毎回の評価を平均した値が、必ずしもその学生にとっての授業効果を示しているとは限らない。板書の仕方や教員の話し方という教員の技術的な項目に関しては毎回の評価は効果的であるが、学生の個に対応した「学生による授業評価」を考える時、毎回の評価は的を射ているとは限らない。

学生が自分にとってその授業が効果的であったかどうかを考える時、それまでの積み重ねを振り返るという作業が必要となる。この振り返りに、第2章1)で述べた「学習記録」が効果的に働くと考えられる。評価を行う際、記録を読み返すことで、これまでの自分を新しい自分が見つめなおすという高い視点を持つことができる(【図1】参照)。授業毎に視野の広がりや具体性を備えた学生が、以前の自分を振り返るという行いを「学生による授業評価」に加味することで、これまで倦厭されがちであった「学生による授業評価」のイメージを払拭していくことができるのではないだろうか。

教員にとって、評価の実施時期、評価項目の設定の仕方によっては、学生が授業内

容をどれだけ理解しているかという情報ともなり得る。それは教員にとっても重要な情報であるが、学生自身にとっても自分がどれだけ理解できているかという自己を見つめなおすための情報ともなり得る。

Q3 では、学生による授業評価の結果についてどのように考えているか尋ねた。その結果、学生は評価にもとづいた改善点を学生に知らせて欲しいと感じている。

これらは、授業評価の結果を学生へフィードバックして欲しいとの気持ちの現れであると考えられる。自由記述に見られるように、評価結果が授業にどう生かされているのかという点について学生には不明瞭である。実際、教員自身も評価結果をどう改善へ結びつけていけば良いのか模索の途中であるかもしれない。

学生は「評価をしたのであれば、その結果は明確に周知するべきである。」と考え、「その結果は生かされるべきである。」とも考えている。

一方、教員にとって「学生による授業評価」から得られた結果は、学生がその授業をどう捉えているかというひとつの情報である。その情報から教員は自分の授業をどう改善すれば良いか考えることができる。

教員がどのような意図で授業を展開し、「学生による授業評価」で得られた情報をどう解釈したか、その改善策は何かということ、授業を通して学生に伝えていく。学生はそれを受け、授業が自分の学習に役に立ったのかという視点から「学生による授業評価」を行う。この情報のやり取りが教員と学生のコミュニケーションとなり、授業をより良いものへと導いていくはずである。コミュニケーションを密にとっていくためには、教員はその意図を明確な言葉で学生に伝えていく必要があると考える。

(3) 学生が教員に求めていること

Q4 の選択肢には、今回の試行で使用された評価項目一覧より、授業の内容、教員の態度についての項目を抜粋した。

学生が「学生による授業評価」において質問して欲しいと考えている項目を要望の多かった順に【表 11】に示す。

【表 11】 学生が質問して欲しいと考えている項目トップ 5

	質 問 項 目	人数 (15 人中)
1 位	わからないときはいつでも質問できる雰囲気がある。	9
2 位	どこが重要なポイントであるか良くわかった。	7
3 位	引用された事例は興味深かった。	6
	毎回の授業の目標がはっきり明示されていた。	6
5 位	板書や資料は見やすかった。	5
	学生から学ぼうとする態度があった。	5
	学生の評価方法は、講義の内容にふさわしいものであった。	5

ここで、第 1 章 4) - (2) に示した【表 6】利用者 (教員) 数の多い項目トップ 10 と【表 11】を比較してみると、学生が質問して欲しいと考えている 1 位から 3 位の項目は、全て教員が利用した項目トップ 10 の中に含まれていることがわかる。

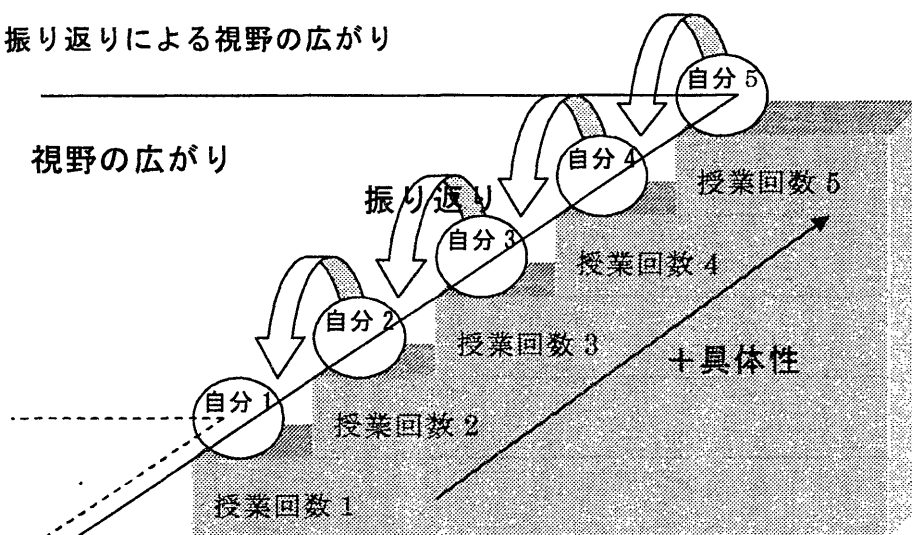
このことから、教員も学生も、互いが授業に求めることは同じであると言うことが

できる。立場は異なるが、お互いがより良い授業を目指し、同じ方向を向いているということは間違いない。

今回、アンケートを実施した学生は教育学部の一部の学生でしかなく、少人数であるので、この結果を学生全体の傾向として捉えることはできない。また、2年生とはいえ、教育学部の学生であることから評価を行うことについて教員よりの考えを持っていた可能性も考えられる。今後、より多くの学生を対象としたアンケート調査を行い、学部別の傾向等についても調査の必要がある。

しかし、今回の試行において教員の思惑と、学生の要望が一致を見たことはこのことは、学生と教員の双方向の授業評価の実現に大きな可能性を示している。

【図1】振り返りによる視野の広がり



おわりに

今回、試行における作業を通じて、教員の「学生による授業評価」に対する様々な思いを知ることができた。そこには、肯定的なものもあれば否定的なものもある。しかし、共通しているのは、授業をより良くしたいという思いである。

「学生による授業評価」は、これまで、学生が教員を評価するという面が強く意識され、教員に倦厭されてきた感がある。しかし、授業評価を行うことで、学生自身が自分の学習を確かめていくことができ、また教員も授業改善へつなげることができるという双方向からの効果が可能であるとするならば、「学生による授業評価」は教員にも学生にも受け入れやすいものになりはしないだろうか。教員と学生とで授業を作り上げていく過程を、「学生による授業評価」を通して、互いが直に感じることであれば、教員と学生の良い関係が築けるのではないかと考えている。

今後は、「学生による授業評価」を双方向からの授業改善に役立てるために、授業のどこに位置づけ、どう機能させていけば良いのか、授業の形態や対象者、クラスの規模等についての細かな調査を含め、考察を行っていきたい。

【参考資料1】「学生による授業評価申込用紙」

<p style="margin: 0;">表面</p> <p style="margin: 10px 0 0 0;">学生による授業評価申込用紙</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">①学部</td> <td style="width: 80%;">学部</td> </tr> <tr> <td>②氏名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③授業名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④授業コード</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤授業評価実施日</td> <td>2 0 0 年 月 日</td> </tr> <tr> <td>⑥個人番号</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦受講者数</td> <td style="text-align: right;">名</td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">※申込用紙記入要領にそって、ご記入願います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="margin: 0;">ご質問やご要望など</p> </div>	①学部	学部	②氏名		③授業名		④授業コード		⑤授業評価実施日	2 0 0 年 月 日	⑥個人番号		⑦受講者数	名	<p style="margin: 0;">裏面</p> <p style="margin: 10px 0 0 0;">自由記述欄の設問文と11～35の評価項目は、各先生方の要望によって印刷します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">自由記述欄 設問文</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px;">No.</td> <td>評価項目 (35字以内) ※申込用紙記入要領の<評価項目一覧>より選択される場合は、その番号を記入して下さい。</td> </tr> <tr><td>11</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td></td></tr> <tr><td>26</td><td></td></tr> <tr><td>27</td><td></td></tr> <tr><td>28</td><td></td></tr> <tr><td>29</td><td></td></tr> <tr><td>30</td><td></td></tr> <tr><td>31</td><td></td></tr> <tr><td>32</td><td></td></tr> <tr><td>33</td><td></td></tr> <tr><td>34</td><td></td></tr> <tr><td>35</td><td></td></tr> </table>	自由記述欄 設問文		No.	評価項目 (35字以内) ※申込用紙記入要領の<評価項目一覧>より選択される場合は、その番号を記入して下さい。	11		12		13		14		15		16		17		18		19		20		21		22		23		24		25		26		27		28		29		30		31		32		33		34		35	
①学部	学部																																																																				
②氏名																																																																					
③授業名																																																																					
④授業コード																																																																					
⑤授業評価実施日	2 0 0 年 月 日																																																																				
⑥個人番号																																																																					
⑦受講者数	名																																																																				
自由記述欄 設問文																																																																					
No.	評価項目 (35字以内) ※申込用紙記入要領の<評価項目一覧>より選択される場合は、その番号を記入して下さい。																																																																				
11																																																																					
12																																																																					
13																																																																					
14																																																																					
15																																																																					
16																																																																					
17																																																																					
18																																																																					
19																																																																					
20																																																																					
21																																																																					
22																																																																					
23																																																																					
24																																																																					
25																																																																					
26																																																																					
27																																																																					
28																																																																					
29																																																																					
30																																																																					
31																																																																					
32																																																																					
33																																																																					
34																																																																					
35																																																																					

【参考資料2】「学生による授業評価用紙」

<p style="margin: 0;">表面</p> <p style="margin: 10px 0 0 0;">学生による授業評価用紙 【A面】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="font-size: x-small; margin: 0;">これは、授業改善のために行う評価です。 学期末のあなた方に対する評価には全く影響しませんので、 各項目に正確に答えて下さい。</p> </div> <p style="font-size: x-small; margin-bottom: 5px;">次の注意事項をお守り下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①回答はHJ製鉛筆（シャープペンシル可）を使用のこと。 ②訂正はプラスチック消しゴム等で完全に消すこと。 ③回答にあたってはマークを完全に塗りつぶすこと。 ④所定の場所以外は記入しないこと。 ⑤回答用紙は折り曲げないこと。 <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> 記入例 ○ ● × </div> <div style="font-size: x-small;"> 分析用番号は記入 しないで下さい 分析用番号 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 5 5 5 5 5 5 5 5 6 6 6 6 6 6 6 6 7 7 7 7 7 7 7 7 8 8 8 8 8 8 8 8 9 9 9 9 9 9 9 9 </div> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <tr> <th style="width: 15%;">授業コード</th> <th style="width: 15%;">実施日</th> <th style="width: 15%;">授業担当者コード</th> <th style="width: 15%;">回答欄</th> <th style="width: 15%;">強 く 思 う</th> <th style="width: 15%;">そ う 思 わ な い</th> <th style="width: 15%;">全 く そ う 思 わ な い</th> </tr> <tr> <td>0 0 0 0 0 0 0 0</td> <td>20 0 0 0 0 0 0 0</td> <td>0 0 0 0 0 0 0 0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <ol style="list-style-type: none"> 1 シラバスは、授業の目標や内容及び評価方法を適切に示していた。 2 教材・教具(教科書、黒板、OHPなど)の使われ方は効果的だった。 3 授業担当者の話し方は聞き取りやすかった。 4 抽象的な概念や理論があっても分かりやすかった。 5 授業担当者は効果的に学生の参加(発言、作業など)を促した。 6 授業担当者は学生に適切な助言を与え、相談にのってくれた。 7 授業担当者の授業に対する熱意を感じた。 8 新しい知識や考え方などを習得でき、さらに勉強したくなった。 9 自分は、この授業に意欲的に取り組んだ。 10 総合的にみて、この授業は自分にとって価値があった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="font-size: x-small; margin: 0;">自由記述欄</p> </div>	授業コード	実施日	授業担当者コード	回答欄	強 く 思 う	そ う 思 わ な い	全 く そ う 思 わ な い	0 0 0 0 0 0 0 0	20 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0					<p style="margin: 0;">裏面</p> <p style="margin: 10px 0 0 0;">学生による授業評価用紙 【B面】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="font-size: x-small; margin: 0;">これは、授業改善のために行う評価です。 学期末のあなた方に対する評価には全く影響しませんので、 各項目に正確に答えて下さい。</p> </div> <p style="font-size: x-small; margin-bottom: 5px;">次の注意事項をお守り下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①回答はHJ製鉛筆（シャープペンシル可）を使用のこと。 ②訂正はプラスチック消しゴム等で完全に消すこと。 ③回答にあたってはマークを完全に塗りつぶすこと。 ④所定の場所以外は記入しないこと。 ⑤回答用紙は折り曲げないこと。 <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> 記入例 ○ ● × </div> <div style="font-size: x-small;"> 分析用番号は記入 しないで下さい 分析用番号 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 5 5 5 5 5 5 5 5 6 6 6 6 6 6 6 6 7 7 7 7 7 7 7 7 8 8 8 8 8 8 8 8 9 9 9 9 9 9 9 9 </div> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <tr> <th style="width: 15%;">No.</th> <th style="width: 15%;">回答欄</th> <th style="width: 15%;">強 く 思 う</th> <th style="width: 15%;">そ う 思 わ な い</th> <th style="width: 15%;">全 く そ う 思 わ な い</th> </tr> <tr> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr><td>12</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>26</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>27</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>28</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>29</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>30</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>31</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>32</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>33</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>34</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>35</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	No.	回答欄	強 く 思 う	そ う 思 わ な い	全 く そ う 思 わ な い	11					12					13					14					15					16					17					18					19					20					21					22					23					24					25					26					27					28					29					30					31					32					33					34					35				
授業コード	実施日	授業担当者コード	回答欄	強 く 思 う	そ う 思 わ な い	全 く そ う 思 わ な い																																																																																																																																											
0 0 0 0 0 0 0 0	20 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0																																																																																																																																															
No.	回答欄	強 く 思 う	そ う 思 わ な い	全 く そ う 思 わ な い																																																																																																																																													
11																																																																																																																																																	
12																																																																																																																																																	
13																																																																																																																																																	
14																																																																																																																																																	
15																																																																																																																																																	
16																																																																																																																																																	
17																																																																																																																																																	
18																																																																																																																																																	
19																																																																																																																																																	
20																																																																																																																																																	
21																																																																																																																																																	
22																																																																																																																																																	
23																																																																																																																																																	
24																																																																																																																																																	
25																																																																																																																																																	
26																																																																																																																																																	
27																																																																																																																																																	
28																																																																																																																																																	
29																																																																																																																																																	
30																																																																																																																																																	
31																																																																																																																																																	
32																																																																																																																																																	
33																																																																																																																																																	
34																																																																																																																																																	
35																																																																																																																																																	

【参考資料3】自由記述欄設問文一覧

前期分

	設 問 文
前1	講義の方法または内容に対して、総合的な感想を記入してください。
前2	専門科目を十分理解するために必要な基礎学力と実際の基礎学力との間にはギャップがあると考えられる。どのような解決法が考えられるか。
前3	この授業は他の授業の役に立つと思いますか。自由に意見を述べて下さい。
前4	臨床を行う上で参考となるヒントが講義内容に含まれていると思いますか。
前5	あなたの考えている「理想的な大学の授業」とは、どのようなものですか？
前6	この講義の内容で、印象に残っていることを自由に書いてください。(感想でも良いです。)
前7	授業に対して要望・意見など自由に書いて下さい。
前8	教科書『○○○』はどうでしたか。教科書についての意見・感想を書いてください。(よかった点、よくなかった点、改善が必要な点など)
前9	この授業の改善点および加えるべき内容は何かですか。(意見・感想も可)
前10	この授業をより良くするための改善点があれば記入して下さい。
前11	要望欄
前12	最も強く印象に残った事項を1つ挙げよ。
前13	評価項目以外で授業の進め方や出席制度等に関する意見・感想をお聞かせ下さい。
前14	○○○(授業科目名)の講義をより良いものにするために、改善すべき点を書いて下さい。
前15	○○(教官名)も初のグループ学習でした。率直な感想を書いてください。
前16	講義の内容や講義の進め方について、意見や感想を書いて下さい。
前17	私語や携帯電話の着信音という受講する側のマナーについて、この授業ではどうだったと思いますか。簡潔に感想を書いて下さい。
前18	理想と思われる授業とは？自由に意見を書いて下さい。
前19	受講する前にシラバスを読みましたか。
前20	「○○○(授業科目名)」に関する要望、意見、コメントなどあれば書いて下さい。
前21	授業に関する感想
前22	この講義の内容が、自分のこれからの大学院での研究に最も大きく(強く)資する点は何かを記述して下さい。
前23	ここを改良したら、もっと良くなるのに と思う点はなかったですか？
前24	○○○(授業内容)をより良く理解するための実習項目・方法の提案
前25	授業を受けて「○○(授業内容)」のイメージがどの様になりましたか。
前26	この授業についての感想および要望を書いて下さい。
前27	現在、進行している○○○(授業内容)の事象やその変化について興味が持てたかどうか。あるいは、どの事例が面白かったか。
前28	この講義に対する感想・コメント・来年はこうすべきという要望など、なんでも自由に書いて下さい。
前29	授業についての感想を自由に書いてください。
前30	授業全体を通して感じたこと、考えたことなど。
前31	この授業は、あなたの○○(授業内容)に対する考え方を深めましたか？もし何か考えたことがあったら自由に記述して下さい。

前 32	その他、更に講義を受けたかった事項・題材、講義方法の改善点等、気づいたことがあれば、何でも記入して下さい。
前 33	講義・実習につき、後輩のために改善してほしいと思う点につき、自由に書いて下さい。
前 34	授業・教官に関する意見・要望を自由に記載して下さい。
前 35	後輩にこの授業をどのように説明しますか。

後期分

	設 問 文
後 1	B面のNo. 11から以下の項目について、評価したい項目について、お答え下さい。
後 2	授業を受けての意見や感想をご自由に書いて下さい。
後 3	感想・意見などがあれば何でも自由に記入して下さい。
後 4	教科書『〇〇〇』はどうでしたか。教科書についての意見・感想を書いて下さい。(よかった点、よくなかった点、改善が必要な点など)
後 5	今後の授業の改善に役立てるため、〇〇語を選択したことに対する感想や、私の授業に対する意見や批判などを自由に書いて下さい。
後 6	講義に関して、感想、意見、提案などがあれば聞かせてください。
後 7	学生の授業評価は、結果をどのように使えば有効だと思いますか。
後 8	講義の内容や講義の手法について、意見や感想を書いて下さい。
後 9	授業に対するコメントを自由に書いて下さい。
後 10	この授業の印象やコメントなど、何でも書いて下さい。
後 11	この授業を半年間受けた感想を自由に書いて下さい。
後 12	この授業についての感想・要望など
後 13	〇〇〇(授業科目名)の感想や要望などを自由に書いて下さい。
後 14	〇〇教官に意見があれば、自由に記載してください。
後 15	今回の講義に対する感想・コメント・要望等がありましたら、記入して下さい。
後 16	授業に関する感想・ご意見・ご要望などありましたら記入して下さい。
後 17	授業の感想をお書き下さい。
後 18	この授業についての感想、希望、提案など、何でも記入して下さい。
後 19	この授業についての感想と要望を書いて下さい。
後 20	自由に感想や要望などを書いて下さい。
後 21	本講義科目の形式について自由に意見を書いて下さい。
後 22	この講義に対する感想、苦言、その他こうしてほしいなどの要望など何でも自由に書いて下さい。
後 23	授業を受けてどのような感想を持ちましたか。どのようなことでも結構です。意見、コメント、感想など。
後 24	この講義について、何でも自由に書いて下さい。
後 25	講義全般についての感想を自由に書いて下さい。
後 26	感想・意見を自由に書いて下さい。
後 27	講義の量、レベル、方法についての要望や感想があれば記入して下さい。
後 28	その他・実習についての意見、希望事項などがありましたら、自由に書いて下さい。
後 29	外部講師から話を聞いたことについて意見を書いて下さい。

後 30	最も印象に残った事項を1つ挙げよ。
後 31	印象に残った実習テーマがあったら、書いて下さい。
後 32	次回からの授業の参考にしたいと思いますので、具体的な改善点や感想があれば記述して下さい。
後 33	良かったところ、改善すべきところ、感想などがあれば自由に記入して下さい。
後 34	授業についての感想、このようにしたらもっとよくなるといった提案などを自由に書いて下さい。
後 35	〇〇〇（授業内容）に興味を持っているか？
後 36	最も興味が深かったトピックスを1つあげて下さい。また、扱って欲しいトピックスがあればおしえて下さい。
後 37	さまざまな分野から〇〇〇について考えましたが、興味深かった分野をあげて下さい。
後 38	講義の中で興味深かったテーマをあげて下さい。（複数可）
後 39	あなたが一番興味深かったテーマは何ですか。
後 40	患者にとって苦痛の少ない（侵襲の少ない）〇〇（授業内容）の診断の手順が理解できましたか。
後 41	パターン認識の学習に対し、予習・復習（レポート作成を含む）に、それぞれ何時間程度費やしていますか。
後 42	裏面の設問 20「自分で問題意識を持ち、考えようとした」について、何をどのように取り組んだのか、説明してください。
後 43	グループ学習の是非について書いて下さい。
後 44	一番難しかった章の番号をひとつ記入して下さい。
後 45	何が最も面白い内容であったか、役に立つ内容であったか、あるいは、他の講義との重複のため不要だと思えた内容であったかについて必ず記入のこと。
後 46	〇〇〇（教材）を持っていますか。
後 47	全体を通して分かりにくい部分、難しかった場所があれば、教えてください。
後 48	この講義を他の大学の〇〇学部の学生に薦めますか？
後 49	〇〇〇の特徴について理解が深まったかどうか。
後 50	〇〇〇（授業科目名）に苦手意識を持っている人に質問します。いつ頃から苦手意識が出てきましたか？また、その原因がわかる人は具体的に記入して下さい。
後 51	この授業を通して最も楽しかったこと、最もつまらなかったことを書いて下さい。
後 52	卒業後、〇〇科を専攻しない場合、〇〇疾患を持つ患者に対し、どう対応するか？
後 53	参考書を1冊以上読みましたか。
後 54	〇〇〇（授業内容）について考える契機になったかどうか。
後 55	授業を改善するための提案があれば書いて下さい。
後 56	自分なりに「評価項目」を1つ考えてください。
後 57	講義を受ける前と後で自分自身、あるいは周りを見る眼が何か変わりましたか？もしあれば書いて下さい。
後 58	今後も続けて欲しい講義法があれば書いて下さい。
後 59	どういった授業を望みますか。
後 60	授業の形式、内容などについて、気づいたこと及び希望などありましたら、何でも書いて下さい。
後 61	〇〇〇（授業科目）の診断と治療の授業内容として、取り入れてほしい事項があれば記入して下さい。
後 62	講義に何を望みますか。

【参考資料 4】「学生による授業評価申込用紙」に寄せられた意見・要望

(注 1) 記号は分析用に設定した番号であり、個人を特定する番号ではない。

(注 2) 斜体文字は、前期に寄せられた意見・要望を、それ以外は後期に寄せられたものを示す。

A. 評価システムについて

記号		意見
A1	教 2	授業予定に評価を組み込む事を考えると、申し込み期間に余裕を持って設定して欲しい。
A2	工 9	評価用紙作成依頼書を 1 教官に 1 枚しか配らなかったのは不手際ではないか。平均すれば一人 2 科目以上は担当しているはず。教官の一人一人がコピーをとる時間が無駄である。
A3	生 1	授業評価を希望する者はメールで連絡すればお互いに労力が少なくなる。そのようなシステムが必要である。
A4	医 1	学部においても学生による授業評価を計画している。学部で行なう場合でもこの様な評価用紙を利用させて欲しい。
A5	工 1	アンケート用紙の見やすいところに科目名を入れて欲しい。各科目ほぼ同時にアンケートを実施するため学生が混乱する。
A6	経 2	個人番号と授業担当者コードは同じになるのか。
A7	医 2	個人番号の記入を求めるのはやる気をそぐ事にならないか。その場で書いてすぐに提出する事が出来ないのでは。
A8	医 3	医学部には授業コードの設定はない。
A9	工 11	個人番号に今回求められているような番号を使用すべきではない。
A10	環 2	各自が作製する裏面の設問は来年度以降も存続するのでしょうか。そのことが保証されるのかどうか気になる。
A11	医 1	13 年度の授業であれば、14 年に入ってからでも良いのではないかと。
A12	工 6	「授業改善」との文言を盛り込むのであれば、FDでの指摘のように中間で実施するなどの検討を真剣に行なうべきである。
A13	工 12	学生は同時期に多くのアンケートに回答するためにうんざりしている。回答方法により工夫する必要がある。
A14	医 4	無記名で行なう方が良い。
A15	工 7	評価用紙に学生に記名させる方式が出来ないか。学生の授業評価と授業成績との間の相関があるかを知られるために参考データとなる。もちろん評価と成績を感情的に結ばせる事は避けるべき。
A16	経 1	評価用紙の回収は公正を確保する上で、教官本人が行なわない方が良いのではないかと。
A17	医 2	評価結果の集計を学部別にすると参考になる。
A18	工 5	集計を早くして欲しい。学生が興味を失ったところに集計が出ても評価した学生には何のメリットもない。
A19	工 3	すばらしく高得点の教官名、授業名を公表して欲しい。そしてその講義を参観させて欲しい。そうでなければいったい何のために授業評価をやるのか。高得点の方の講義を参観し、お手本にし努力したい。

B. 評価項目について

記号		意見
B1	教 4	評価項目の中に扱いようのない項目内容があり、質問の意味のない物がある。4 番、10 番など。
B2	工 1	共通項目 9 番、10 番は講義の改善に必要でない。
B3	工 2	項目全てに回答するのではなく、講義の形態により記述できない項目については回答の必要のない事を案内すべき。
B4	環 1	自由記述欄をもっと多めにとって欲しい。自由記述欄がない物には疑問を抱く。

B5	医 5	授業内容だけでなく、カリキュラム、シラバスの立て方についても学生の意見を聞いた方が良い。
B6	医 7	共通項目の 7 番、10 番は必ずしも全ての授業で課題を出したり、電子メディアを使用したりするわけではないので、共通とするのはどうか。
B7	歯 1	共通項目の中に該当しない項目がある。該当しない場合、学生は回答を悪い評価として答えるのでトータルとして授業は良くないという事になる。該当しない項目は 4, 7, 9 である。
B8	薬 1	共通項目はどの程度の期間続くのか。
B9	薬 2	電子メディアをなぜ使用しなければならないのか。
B10	工 4	工学部では、比較的多数の受講者がある場合にも配慮した質問事項を用意した経緯があります。質問事項の再検討をされる折があればご検討いただきたい。
B11	工 10	追加項目の 1, 2, 15, 共通項目の 5, 6 は学生の意欲や基準とするレベルによって、全く異なる結果となり、授業改善の役に立たない。より明確なアンケート主旨を持った設問にして欲しい。
B12	工 8	共通項目の中に授業評価というよりも学生評価である設問がある (No.9)。この様に評価対象が異なる場合のアンケート結果を同じ扱いで総合平均をするのは問題である。

C. 「学生による授業評価」を実施する授業の形態について

記号		意 見
C1	教 5	評価項目の解答欄は 4 択だけでなく記述できるようにすべき。グループ学習には今回の様式は向かない。
C2	教 6	実習等を含む授業はシラバス通りにはいかない。絵画作品は個性に応じた指導を行なうため、このような評価には不向きである。
C3	歯 1	実習もこの評価を行なってよいのか。
C4	工 3	共通項目 2 番は従来の一方通行型の講義に対する評価項目であるので、従来の一方通行型の講義に対する評価項目だけでなく、討論形式、音楽、美術の一方通行方でない形式の講義に関する評価項目を入れるべき。
C5	教 2	実習等を含んだ授業なのでシラバス通りにはいかない。個性に応じた指導を取っているため、このような評価には不向きであると思う。
C6	医 6	授業だけでなく実習等も学生の評価を受けた方が良い。
C7	環 1	演習についても学生評価が必要だと考える。記述式を主体に実施してみたい。

D. 学生が評価を行うことへの危惧について

記号		意 見
D1	経 1	講義の途中で担当者が変わっているので一貫性のある評価は困難と思われる。
D2	教 3	前期は夏季休業による空白があり、9月に評価を実施しても学生が明確に評価できるか疑問である。
D3	医 8	学生による授業評価は大変結構な事である。しかし、授業を受けるにふさわしくない学生が一部いる事も確かである。(講義中の飲食、携帯電話の使用、メールのやり取り等) この様な状況下での評価が果たして本当の評価を歪曲した形で反映してしまわないように希望する。
D4	工 2	やる気のない学生からどうして教官が評価を受けなければならないのか疑問に思う。私は「教育者」として懸命に講義に取り組んでいる。「お前の授業が悪いからだ」と人はいうかもしれないが、私は断じてそんな事はない。学生の方こそ懸命でなく、最初からやる気がないと思っている。

E. 授業改善について

記号	意見
E1	教 1 「学生による授業評価」は授業改善のきっかけになる。
E2	教 1 個人で授業改善の提言を受けているので特に裏面の設問は設けません。
E3	医 9 授業評価は重要な事である。フィードバックによる（学生の講義評価が及ぼす）自身の今後の講義の改良、改善に大いに役立つ。

F. 評価点について

記号	意見
F1	工 4 評価の点が高い、低いという事は講義の改善にはつながらない。学生との双方向の意見交換を行なって初めて改善につながる。
F2	生 1 本来評価点は受講者の成績によってウエイトをかけて算出しなければならない。そのため、記名式にする必要がある。

G. 評価の意図について

記号	意見
G1	医 3 全学レベルで学部の専門教育の教育評価をしようとする意味が不明である。これは学部ごとに行なう事である。意図と評価をどのように活かすのか明確にして欲しい。学部と二重に評価を行なうことは無意味である。

【参考資料 5】 学生に対するアンケート用紙

平成 14 年 2 月 14 日

学生の皆さんへ

教 育 学 部 鈴 木 慶 子
事 務 局 総 務 部 林 朋 美

「学生による授業評価」についてのアンケートのお願い

平成 13 年度前期より、より良い授業への授業改善を目的として「学生による授業評価」の試行が始められました。

そこで「学生による授業評価」について、皆さんの率直なご意見をお聞かせ下さい。

なお、このアンケートの回答が皆さんの成績等に影響することはありませんし、個人を特定するものでもありませんので、安心して回答して下さい。

選択式の質問に関しては、該当する記号に○を付けて下さい。

- Q1. あなたは、「学生による授業評価」を行うとき、どのように評価を行っていますか。
- a) 他の先生の授業と比較して、評価している。
 - b) 同じ先生の他の授業科目と比較して、評価している。
 - c) 他とは比較せず、評価している。
 - d) その他 ()
- Q2. 現在、「学生による授業評価」の試行では、学期末に評価を実施しています。そのため、評価を行った授業がどのように改善されているのか、あなた方に直接伝わりにくいのが現状だと思います。そこで、評価を実施する時期・回数について適当だと思うものはどれですか。
- a) 毎回実施する。
 - b) 学期の途中で 2, 3 度実施する。
 - c) 学期の中間で 1 度実施する。
 - d) 学期末に実施する。
 - e) その他 ()
- Q3. 「学生による授業評価」の結果についてどのように思いますか。
- a) 評価の結果を学生に向けて公表して欲しい。
 - b) 評価の結果にもとづいた改善点を学生に知らせて欲しい。
 - c) 評価の結果を教員がどのように解釈したのか知らせて欲しい。
 - d) その他

Q4. 共通質問項目以外にどのようなことを質問して欲しいか、選択肢の中から選んで下さい。

- a) 出席を取った方が良い。
- b) どこが重要なポイントであるかわかった。
- c) 講義に具体例が盛り込まれていた。
- d) 授業内容は構造化され体系立てられていた。
- e) 板書や資料は見やすかった。
- f) 身振り、表情などの使い方が効果的だった。
- g) 学生の方に視線を向けて話していた。
- h) 学生から学ぼうとする態度があった。
- i) 引用された事例は興味深かった。
- j) わからない時はいつでも質問できる雰囲気がある。
- k) 授業の目的がはっきり明示されていた。
- l) 学生の評価方法は、講義の内容にふさわしいものであった。
- m) 提出した課題に対して十分なコメントが返ってきた。
- n) その他

Q5. 「学生による授業評価」について感じたこと、気づいたことがあれば何でも自由に書いて下さい。